

科目名	経済史							教職	
科目区分	総合教育	履修区分	選択	配当年次	2	単位数	2	開講区分	前期
教員名	富岡 庄一（専任）								
授業の概要	キーワード： 資本主義、封建制度、絶対王政								
	今日の経済制度である資本主義の発生・成長過程を、地域別・国別の特徴を比較しつつ考察する。取り上げる地域は、ヨーロッパが中心であるが、必要に応じてアメリカ、中近東、アジアにも言及する。								
到達目標	今日の諸事象を理解する上で必要な歴史的視野を獲得し、又経済史学の基礎的概念についての理解を深める。								
授業計画	1. 中世ヨーロッパの封建制 1：三圃農法、開放耕地制、フーフエ 2. 中世ヨーロッパの封建制 2：領主制、荘園制 3. 中世ヨーロッパの封建制 3：中世都市、ギルド 4. 15世紀の世界（ヨーロッパを中心に）：百年戦争、ペスト、ルネサンス 5. 封建制の危機 1：経済的衰退、経済的繁栄 6. 封建制の危機 2：領主直営地の解体、地代の金納化 7. 近代化の歴史的起点 1：独立自営農民、農村工業 8. 近代化の歴史的起点 2：イギリス毛織物工業の発展開始 9. 価格革命：貨幣数量説、実物的要因重視説 10. 16・17世紀における農業土地制度の変容 1：三分割制、地主＝小作制 11. 16・17世紀における農業土地制度の変容 2：農場領主制（グーツヘルシャフト） 12. 16・17世紀の工業 1：オランダの毛織物工業、マニユファクチュア 13. 16・17世紀の工業 2：イギリス毛織物工業のセクター転換 14. 絶対王制 1：官僚制、常備軍 15. 絶対王制 2：産業規制、特権企業の育成 16. 定期試験								
評価方法	小テスト（20%）と定期試験（80%）により評価する。								
講義外での学習	授業で触れた事柄について、図書館等で自分で調べて、理解を更に深め・広げて下さい。								
履修上の注意事項	遅刻をしないように ※先修科目： 特になし								
教材	◆教科書： 石坂昭雄他著『新版西洋経済史』有斐閣双書 ◆参考書：								